

核データ情報評価専門部会
データ検索システムWG 45年度第4回会合議事録

日 時 昭和46年2月18日(木) 13:40 ~ 17:40
場 所 日本原子力研究所東海研究所V.d.G建屋29号室
出席者 五十嵐 信 一 (原 研) 河原崎 雄 紀 (原 研)
中 川 庸 雄 (原 研) 中 嶋 龍 三 (法 大)
西 村 和 明 (原 研) 更 田 豊 治 郎 (原 研)

配布資料

- 前回議事録
- NEUDADAのフロチャートその他

議 事

1. 一般関連事項

当W.G.に関する外部情勢について、更田委員と五十嵐委員から報告があった。主なことは ;

- 核データ情報専門部会と、核データ評価専門部会が総合し核データ専門部会になる。それに伴うW.G.の統一について。
- 前回本委員会でNEUDADAのマスターテープが話題になった。
- 桂木氏がNational Neutron Cross Section Center, BNLに約2週間出張することになった。

2. コンピュータ調査報告の件

半分以上原稿ができた。3月中には出せる。

3. NEUDADAについて

予定通り、IBMからプログラムを引き取り、1月から原研のFACOMでコンパイルをし、一部のプログラムについてはテストランを終了した。コメントの格納検索はしない方針でやっている。NEUDADAは全部で9つのプログラムの集まりであるが、現在入手しているTransmission